

研究業績

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
1	犬の凍結精液に関する研究	共	1986年1月	東京獣医畜産学会	難波信一
2	豚の凍結精液に関する研究	共	1986年1月	東京獣医畜産学会	濱谷和也
3	不妊雌犬に対するPGF2 α アナログ製剤による治療効果	共	1986年10月	家畜繁殖学会	難波信一
4	Plasma luteinizing hormone, estradiol-17 β , progesterone, prostaglandin F α -metabolite during the peri-estrous period in the cow with normal and feeble estrus.	○	1989年	Jpn. J. Anim. Reprod. 35: 61-67.	Takeishi M
5	Differences in Survival Rate of Oocytes in Follicular Cysts between Freely-Grazing and Feed-Lot Holstein Dairy Cows	○	1990年3月	Jpn J Animal Reprod Vol 36(1):31-34	Takeishi M
6	A study on fetal lung maturity in dairy cows.	共	1990年	The proceedings of 16th World Buiatrics Congress. 1075-1081.	Takagi K
7	Bovine foetal and maternal placental aromatase activity and oestrogen levels during pregnancy and parturition.	共	1990年	The Proceedings of 16th World Buiatrics Congress. 860-866.	Tsumagari S
8	Changes of PGFM and sex steroid hormones in blood of horses pre- during and post-parturition.	○	1992年	J. Reprod. Dev. 38: 23-28.	Takagi K
9	Isolation of Bartonella henselae from domestic cats in Japan	○	1996年1月	J Vet Med Sci. 1996 Sep;58(1):81-83	Maruyama S

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
10	Seroprevalence of Bartonella henselae and Toxoplasma gondii infections among pet cats in Kanagawa and Saitama Prefectures.	○	1998年9月	J Vet Med Sci. 1998 Sep;60(9):997-1000	Maruyama S
11	ダルメシアンの腎異形成の1例	共	2004年9月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	日比佐知子 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)
12	ダルメシアンの腎異形成の1例	共	2004年9月	関東地区獣医師大会	日比佐知子
13	犬の半陰陽の一症例	共	2004年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	大沼和気子
14	肥大性胃症を併発した副腎皮質機能亢進症の犬の1例	共	2005年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)
15	肥大性胃症を併発した副腎皮質機能亢進症の犬の1例	共	2005年9月	関東地区獣医師大会	難波信一
16	内科療法で管理している犬インスリノーマの1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一
17	高エストロゲン血症により貧血を呈したと考えられる1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	日比佐知子
18	猫の眼瞼結膜に発生したリンパ腫の1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	小笠原静香
19	マダニ寄生が認められた犬21例におけるボレリアならびにエールリッヒアの抗体調査	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	小笠原静香
20	脊髄変性症が疑われる1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	桑原岳
21	骨に発生した犬の血管肉腫の1例	共	2006年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	伊藤典子
22	犬の橈骨遠位部に発生した血管肉腫の一例	共	2006年9月	関東地区獣医師大会	伊藤典子
23	犬と猫のパルボウイルス感染症に対するリン酸オセルタミビルの効果	共	2006年9月	関東地区獣医師大会	難波信一
24	液状試薬測定法によるイヌおよびネコの血液生化学分析	共	2006年10月	日本獣医学会	桑原岳

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
25	Characterization of CD34+ cells from canine umbilical cord blood, bone marrow leukocytes, and peripheral blood by flow cytometric analysis	共	2007年8月	The Journal of Veterinary Medical Science	Shigehisa Tsumagari
26	犬のパルボウイルス感染症に対するリン酸オセルタミビルの効果(続報)	共	2007年2月	日本獣医師会学会年次大会	難波信一
27	猫の除爪術に関する一考察	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一
28	特発性咀嚼筋炎が先行した犬歯肉扁平上皮癌の一例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	大沼和気子
29	腹部大腿動脈血栓塞栓症および上腕動脈血栓塞栓症が疑われた2例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	小笠原静香
30	椎間板突出のイヌと肝腎の石灰化についての考察	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	桑原岳
31	ピロキシカムに反応した前立腺移行上皮癌の一例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	伊藤典子 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)
32	内側関節上腕靭帯損傷による前肢破行を呈した症例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	尾上翠
33	消化管に発生した腺癌によって異なる臨床症状を示した猫2例	共	2007年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	荒瀬由梨恵
34	小動物外科手術におけるVessel Sealing Systemの有用性	共	2007年	第74回獣医麻酔外科学会	難波信一
35	犬の前立腺移行上皮癌に対してピロキシカムを使用した一例	共	2007年	関東・東京地区獣医師大会	伊藤典子
36	縫合糸反応性肉芽腫に対する超音波手術装置の使用	共	2007年	関東・東京地区獣医師大会	難波信一
37	Canine Melanoma of the Nictitans Gland	共	2007年	ACVO Annual Conference	Wakiko Onuma
38	ヒト免疫グロブリンを投与した免疫介在性溶血性貧血の犬2症例	共	2008年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	尾上翠
39	Speculative Utility of Urine (Acesmin) Concentration in Dogs	共	2008年	Veterinary Cancer Society Conference in Seattle	Noriko Ito

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
40	Arginine Vasopressin Modulates Norepinephrine from Cardiac Sympathetic Nerve in Guinea Pigs	共	2008年	The 18 th European College of Veterinary Internal Medicine - Companion Animal Conference	Mitsuhiro Isaka
41	犬の高レニン選択的低アルドステロン症の一例	共	2009年	関東・東京地区獣医師大会	難波信一
42	髄膜炎・脳室拡大がみられた非滲出型猫伝染性 腹膜炎の一例	共	2009年	日本内科学アカデミー	桑原岳
43	椎間板ヘルニア54症例の回顧的調査	共	2009年3月	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	高橋洋介 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)
44	椎間板ヘルニア98症例の回顧的調査	共	2009年	関東・東京地区獣医師大会	高橋洋介
45	ウェルシュコーギーにみられたSchmidt症候群の 一例	共	2009年	関東・東京地区獣医師大	難波信一(学術奨励賞受賞)
46	ルチンの低用量投与が有効であった胸膜滲出の 3例	共	2010年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	別府雅彦
47	犬の炎症性腸疾患に対するアレルギー検査の有 用性	共	2010年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一
48	Urine diacetylated spermine might be a nonspecific tumor marker in canine neoplasia	○	2011年	Veterinary Science Development 2011; volume 1:e16	Mitsuhiro Isaka
49	延髄梗塞が認められた髄膜腫の猫の一例	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	桑原岳
50	犬の脾臓に発生した線維組織球性結節の4症例 に関する臨床検査所見	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	松原奈美
51	内科療法に反応しない特発性乳糜胸に対し胸 管結紮術、心膜切除術を行った犬の一例	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	高橋洋介
52	未分類型仙骨骨折が疑われた犬の一例	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	井坂光宏
53	前・後十字靭帯断裂に内側半月板損傷を併発し た猫の一例	共	2011年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	別府雅彦 (神奈川県獣医師会 最優秀賞受賞)

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
54	犬のアトピー性皮膚炎(CAD)に対する塩酸セチリジン単独投与の効果	共	2011年	関東東京三学会	難波信一
55	猫の甲状腺機能亢進症の疫学的調査	共	2011年	関東東京三学会	松原奈美
56	遠位大腿骨矯正骨切術を試みた膝蓋骨内方脱臼グレードIVのチワワの2症例	共	2011年	関東東京三学会	井坂光宏
57	前・後十字靭帯断裂に内側半月板損傷を併発した猫の一例	共	2011年	関東東京三学会	別府雅彦
58	猫の門脈体循環シャントにアメロイドリング・コンストラクター(AC)を用いて外科治療を行った1例	共	2011年	関東東京三学会	高橋洋介
59	診断に苦慮した全身性クリプトコッカス症の1例	共	2012年	動物臨床医学会年次大会	別府雅彦
60	弃膜症に罹患した犬の血清ヒスタミン濃度	共	2012年	日本獣医循環器学会	井坂光宏
61	心嚢水貯留を呈した犬9症例の回帰的調査(2008-2011年)	共	2012年	日本獣医循環器学会	井坂光宏
62	Computed Tomography(CT)検査が大きく診断に寄与した3症例	共	2012年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一
63	全身性エリテマトーデスが疑われた犬の2症例	共	2012年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	石川真由子
64	胆嚢粘液嚢腫を原因とする胆嚢破裂後に胆嚢摘出術を実施した犬2例	共	2012年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	荒瀬由梨恵
65	卵巣子宮摘出術が原因で膿腎症が発現した犬の1例	共	2013年	日本獣医内科学アカデミー	松原奈美
66	犬の副腎皮質機能低下症11例における回顧的研究	共	2013年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	土居瑛希子
67	膝特異的リパーゼで異常値を示した犬の回顧的研究: 犬42例	共	2013年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	鯨岡昌裕
68	上部消化管内異物に対する内視鏡検査の回顧的研究: 犬94頭	共	2013年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	松原奈美
69	犬の特発性高カルシウム血症に対するアレンドロン酸とシナカルセトの併用	共	2014年	日本獣医師会学会年次大会	難波信一
70	前立腺がんを診断した猫2例	共	2014年	日本獣医師会学会年次大会	石川真由子

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
71	雄犬におけるフェノバルビタール投与はサイロキシンのグルクロン酸抱合活性値に影響しない	共	2014年	日本獣医学会	鈴木太郎
72	排卵障害にヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(hCG)を用いて正常な妊娠・出産に至った犬の1例	共	2014年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	難波信一
73	無機能性先天性水腎症が疑われた若齢犬の1例	共	2014年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	津山俊之
74	犬の悪性リンパ腫に対するメロノミック化学療法(低用量シクロフォスファミド経口投与)の検討	共	2014年	神奈川県獣医師会学術症例 報告会	土井瑛希子
75	Clinical and Laboratory Features of 48 Feline Hyperthyroidism cases in Japan	○	2014年	Veterinary Science Development 2014; volume 4, No.1	Namba S
76	Histamine cocentration is involved in canine valvular disease	○	2014年	Veterinary Science Development 2011; volume 4, No.2	Isaka M
77	Two-hole extracapsular technique for the repair of canine cranial cruciate ligament rupture in thirty-eight dogs	○	2014年	Veterinary Science Development 2011; volume 4, No.2	Isaka M
78	Corrective surgery for canine patellar luxation in 75 cases (107 limbs): landmark for block recession	○	2014年	Veterinary Science Development 2011; volume 4, No.2	Isaka M
79	心房中隔欠損による大動脈血栓症が疑われた猫の一例	共	2015年	関東東京三学会	北村亮
80	イヌ皮膚線維芽細胞におけるブラジキニン誘導性のCOX-2発現:PKC ϵ によるMEK/ERK経路調節	共	2015年	日本獣医学会	中野令
81	イヌ滑膜線維芽細胞におけるTNF- α によるIL-6、IL-8の発現とMAPキナーゼ経路の関与	共	2015年	日本獣医学会	難波信一
82	ビスホスホネート関連顎骨壊死を疑った犬の1例	共	2015年	動物臨床医学会年次大会	別府雅彦

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
83	イヌMHCクラスIおよびクラスII遺伝子座の多型解析とハプロタイプ推定	共	2015年	DNA多型学会	宮前二郎
84	イヌMHCクラスI(DLA-88およびDLA-12)およびクラスII遺伝子(DLA-DRB1)の多型解析とハプロタイプの推定	○	2016年	日本実験動物学会	宮前二郎
85	消化管間質腫瘍にリン酸トセラニブが奏効した犬の一例	共	2016年	神奈川県獣医師会学術大会	石川力也
86	口腔内に波及した猫の真菌性肉芽腫の一例	○	2016年	獣医臨床皮膚科	濱崎さやか
87	Expression and function of interleukin-1<beta>-induced neutrophil gelatinase-associated lipocalin in renal tubular cells	○	2016年	PLOSOne	Tadayoshi Konno, Rei Nakano
88	イヌ滑膜線維芽細胞のTNF- α 処理によるIL-8発現とMAPキナーゼ経路の関与	共	2016年	日本大学獣医学会	難波信一(基礎・応用部門最優秀賞)
89	イヌ皮膚線維芽細胞におけるブラジキニン誘導性COX-2発現: β 2受容体/Gq/PLD/PDKによるPKC ϵ を介したERK核内移行制御	共	2016年	日本獣医学会	中野令
90	イヌ皮膚由来線維芽細胞におけるTNF- α によるシクロオキシゲナーゼ-2発現: MEK/ERKおよびp38経路の関与	共	2016年	日本獣医学会	吉池卓也
91	イヌ滑膜線維芽細胞のTNF- α 処理によるIL-8の発現とMAPキナーゼ経路の関与	共	2016年	日本獣医学会	難波信一
92	イヌ MHC クラス I 遺伝子 (DLA-12,-64,-88) およびクラス II 遺伝子 (DLADR B1) の多型解析とハプロタイプの推定	共	2016年	日本組織適合性学会	宮前二郎
93	脾臓腫瘍の犬における血漿TAT濃度の評価	共	2017年	兵庫県開業獣医師会研究会	中田美央
94	The use of zoledronic acid for solitary osseous plasmacytoma in a dog	共	2017年	獣医麻酔外科学雑誌	Tomone Zama
95	皮膚線維芽細胞におけるPLD/PDK-1経路を介したPKC ϵ の活性化とERKの核移行	共	2017年	日本細胞生物学会	中野令

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
96	イヌ滑膜線維芽細胞におけるグルコサミン塩酸塩によるシクロオキシゲナーゼ2の脱グリコシル化	共	2017年	日本大学獣医学会	北中菜菜子
97	イヌ滑膜線維芽細胞におけるインターロイキン1βによるシクロオキシゲナーゼ発現を介したメラノスフィア形成	共	2017年	日本大学獣医学会	堀 甲二
98	イヌ滑膜線維芽細胞におけるインターロイキン1β誘導性シクロオキシゲナーゼ2発現に対するNF-κB経路およびMAPキナーゼ経路	共	2017年	日本大学獣医学会	藤倉直人
99	ERK2 and JNK1 contribute to TNF-α-induced IL-8 expression in synovial fibroblasts	共	2017年	PLOS ONE	Shinichi Namba
100	イヌ滑膜由来線維芽細胞のTNF-α誘導性IL-8発現におけるERK2とJNK1活性化の関与	共	2017年	日本獣医学会	難波信一
101	イヌ脱分化脂肪細胞のレチノイン酸および塩基性線維芽細胞成長因子による神経分化	共	2017年	日本獣医学会	中野 令
102	イヌ滑膜由来線維芽細胞における新規ERK活性調節: RelA/p65によるERK活性調節	共	2017年	日本獣医学会	北中 卓
103	イヌ滑膜由来線維芽細胞におけるグルコサミン塩酸塩によるシクロオキシゲナーゼ-2の脱グリコシル化	共	2017年	日本獣医学会	北中菜菜子
104	イヌ口腔内メラノーマ細胞におけるインターロイキン1βによるシクロオキシゲナーゼ発現を介したメラノスフィア形成	共	2017年	日本獣医学会	堀 甲二
105	イヌ口腔内メラノーマ細胞におけるインターロイキン1β誘導性シクロオキシゲナーゼ2発現に対するNF-κB経路およびMAPキナーゼ経路	共	2017年	日本獣医学会	藤倉直人
106	低タンパク血症が認められなかった脂肪肉芽腫を伴う腸リンパ管拡張症の犬3例	共	2017年	動物臨床医学会	森脇 拓
107	Effect of Glucose Transporter Inhibition on Cell Growth in Canine Melanoma	共	2018年	ACVIM Forum 2018 Research Abstract	Shinichi Namba
108	Increase in Serum Symmetric Dimethylarginine Level Following Anesthesia in dogs	共	2018年	ACVIM Forum 2018 Research Abstract	Shinichi Namba

番号	著書、論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は、 発表学会等の名称 及び巻号	概要 (該当論文の1番目に記載の 発表者名を記入すること)
109	Protein kinase C ϵ regulates nuclear translocation of extracellular signal-regulated kinase, which contributes to bradykinin-induced cyclooxygenase-2 expression	共	2018年	Scientific Reports	Rei Nakano